SNS 連動企画第 1 弾「リレー投稿」　2020 年 4 月度テーマ『見直す』第 1 週

コミュニケーション方法を『見直す』
―インターネットを活用したコミュニケーション―

2005(平成 17)年卒業　平子　知明

新型コロナウイルスの感染拡大が留まるところを知らない状況となっています。罹患された方へお見舞いを申し上げるとともに、一日も早いご快癒をお祈りいたします。また、亡くなられた方には心からお悔やみを申し上げます。

2 月中旬に東京支部新年交礼会が中止となった際には、まだ漠然とした不安感がある、という感覚でしたが、その後北海道での非常事態宣言や全国的な感染拡大する中で、今までの「安心・安全」と思っていた生活が如何に大切かに改めて気付きました。終息までの間、仕事をする上での制約があったり、個々人での行動面での見直しを行ったり、仲間と会って語るという当たり前にできていたことでさえも自粛する必要があります。

そこで、急遽 4 月度のテーマを『見直す』と設定し、このような時だからこそ、最近忘れがちだったことの価値を『見直す』ことや、今までやっていたことを『見直す』ことによって新しい経験ができたことを紹介していきたいと思います。

＝＝＝

私は今回、「コミュニケーション方法を『見直す』」について述べたいと思います。

通常平日は業務のため、休日は緑丘会活動や友人・後輩たちとの食事などのため、自宅から外出する時間が非常に多い生活をしています。そのため、1 日中自宅にいることは月に 1～2 日程度です。

新型コロナウイルス感染のリスクが高まって以降、生活は一変しました。業務のためオフィスには出勤するものの、外部との会議はほぼなくなりました。また、休日も通院（重度の花粉症のため定期的な通院が必要なのです）や必要な買い物など以外はほぼ自宅にいます。

そうは言っても、業務もプライベートもコミュニケーションをとる必要性はあるため、オンライン（テレビ）電話や Web 会議サービスを活用しています。LINE 通話や FaceTime などスマートフォンを使用した通話サービスも使用していますが、Microsoft Teams といったアプリや zoom など Web 会議サービスは複数人でのコミュニケーションにも有効ですので、おススメです。

以前、会社のテレビ会議システムを使用した会議において、意思疎通がうまくいかず、議論がかみ合わなかった経験があったため、Web 会議を敬遠していたのですが、資料共有もスムーズに行えることから、（大人数での議論には難点がある気がしますが）少人数での議論や比較的大人数に対するプレゼンテーションに活用できました。

誰かに会うこと自体を自粛しなければいけない状況下にありますので、“zoom 飲み”（家で飲みながら zoom でつないで会話を楽しむ）や skype などを使用したご家族・お孫さんとの会話を楽しみ、この難しい局面を乗り越えてはいかがでしょうか。

早くこの状況が改善されますように。